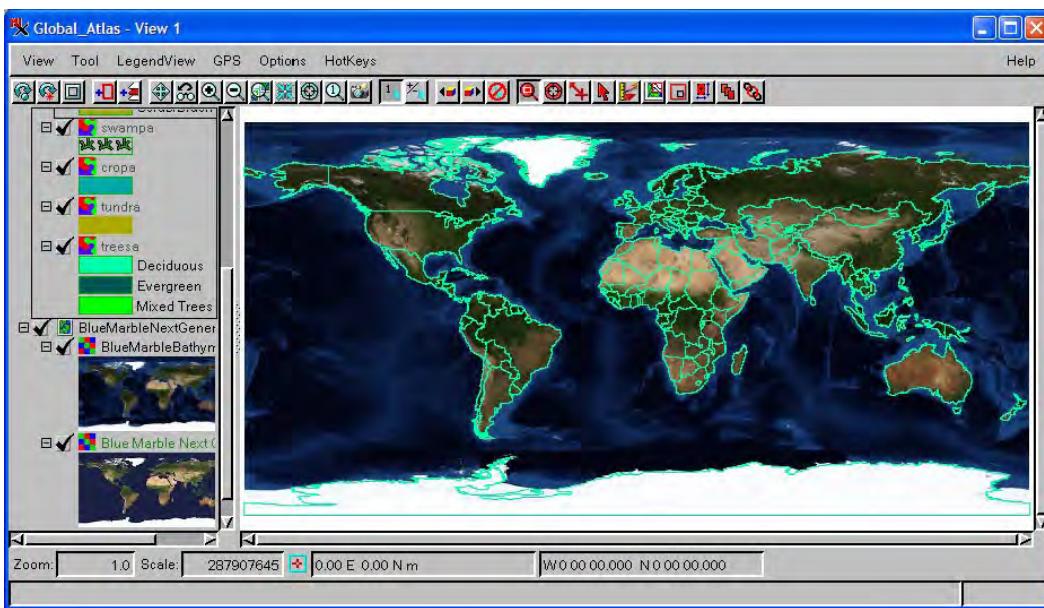


画像サムネイルによるラスタの凡例

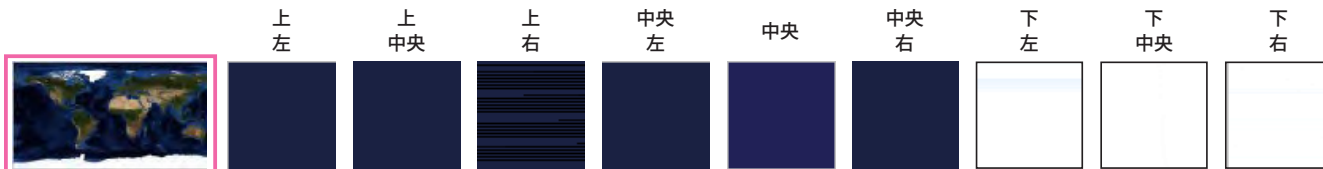
ラスタオブジェクトに対して以下のような異なるタイプの凡例を作成することができます：エリアサンプル、画像サムネイル、連続カラスケール、カラスケールレンジ、カラーサンプル、主題図の範囲などです。後の4つは量的な表示の場合に使用できます（例えば、カラーマップが適用された標高ラスタに対して連続カラスケールを使用したり、主題図設定の場合には主題図の範囲などです）。最初の2つのオプション（エリアサンプルと画像サムネイル）は、凡例画像を生成するために、表示ラスタの一部を使うか、あるいは全部を使うかという違いです。特定のラスタに対してどちらが良いかは、全体の分かりやすさや試行錯誤で決めます。

エリアサンプルによる凡例画像のサイズは縦横 64 ピクセルで、ラスタの位置を選択して 1:1 で切り取ります（等倍サイズ）。広範囲にヌル領域や、水域のような一様な値を持ったラスタの場合、適切なエリアサンプルを選択するのは難しいです。9 個のエリアサンプルの中に画像全体を代表するサンプルがない場合は、画像サムネイルがいかにもかもしれません。例えば、下の NASA のブルーマープル全球画像やマイクロイメージ社が作成した全米農業画像プログラム (NAIP) の正射写真のモザイクのフロリダの画像 (<http://www.microimages.com/TNTmap/Florida> を参照) などでは、エリアサンプルより画像サムネイルの凡例の方が分かりやすいです。画像サムネイルはピラミッド構造より生成されます。ラスタがピラミッド構造を持っていたり縦横 512 ピクセル以下の小さいラスタの場合、画像サムネイルがデフォルトの凡例タイプになっています。画像サムネイルは凡例表示の画面で 128 × 64 ピクセルの大きさですが、ラスタの形によっては一辺のサイズがそれより小さくなる場合もあります。



上の全球画像のようなヌル領域や同一のデータ値の範囲が広いラスタでは、「画像サムネイル」が最適です。それ以外のラスタでは「エリアサンプル」が適している場合があります。

3 個の異なるカラーラスタオブジェクトについてデフォルトの「画像サムネイル」と 9 個の「エリアサンプル」を示します。一番上の全球ラスタでは、画像サムネイルが分かりやすいです。9 個のエリアサンプルのどれも水域が氷です。



下のラスタは土地画像情報を表す地図です。真ん中のエリアサンプルは家屋の一部を示しており、このラスタではこれが最適でしょう。



下図のサムネイルはラスタオブジェクト全体を表現しています。9 個のエリアサンプルも内容や規模を正しく伝えていますが、この場合はどちらでも良いでしょう。



「画像サムネイル」

「エリアサンプル」による凡例